

卒業生アンケートのまとめ

(平成21年度卒業生；平成24年度末に実施)

アンケート対象となった平成21年度理学部卒業生で、その多くは平成18年度入学であり、学部改組（平成19年度）前の最後の学年である。アンケートは、平成23年12月20日に郵送し、1月末締め切りで返信を依頼した。

平成21年度の卒業生は274名であり、そのうち45名から回収された。回収率は16.4%と、高い数字ではないが前年（11.2%）よりは改善した。回収数が少ないため、学部全体のデータを検討した。

理学部大学点検評価委員会

I. 分析

【全般的な質問】

高知大学での勉学や生活で満足できたものは、「友人との出会い」が一番多く89%（昨年度83%）であった。次いで、「研究室での卒研やゼミ」（67%；昨年度72%）、「先生との出会い」（56%；昨年度45%）、「授業」（44%；昨年度38%）と続く。これらの数字や順位はおおむね例年通りである。総じて、卒業研究、および大学で得られた人間関係に関する満足度が高い。授業についての数値は、昨年の38%よりも若干上向いているが、「授業」に満足できなかった回答者の割合も34→31%とわずかであるが減少しており、改善傾向がうかがえる。それでも授業に満足できなかった31%という数字は、高知大学での勉学や生活で満足できなかった選択肢の中で最も高いことには留意すべきであり、改善の努力をさらに続けなければならない。

教育研究施設（学習環境）については、80%（昨年度69%）が「満足できた」または「ほぼ満足できた」と回答している。

就職支援活動については、「満足できた」または「ほぼ満足できた」との回答が53%（昨年度52%）であったが、「あまり満足できなかった」という回答も42%（昨年度40%）あった。

【シラバス】

理学部の授業シラバスについては、98%（昨年度は100%）が「役立った」または「役立つこともあった」と答えている。授業については、96%（昨年度は100%）が、シラバスの授業計画に沿って「実施されていた」または「ほぼ実施されていた」と評価している。あらかじめ提示したシラバスに沿った授業を進めるというスタイルが定着している点は変わらない。

【受講科目の感想】

理学部開設授業（講義、実験、演習、セミナー）で満足できた授業の数は、40以上（15→7→20%；矢印の前の数字は前々年度、および前年度）、30～40（30→40→27%）、20～30（30→17→36%）、10～20（26→33→11%）、10以下（0→3→4%）という分布であった。満足した理由としては「専門分野の実力がついた」が60%で最も多く、「教員の熱意が感じられた」が56%（昨年度45%）とそれに続く。「教員の熱意が感じられた」の選択肢は、昨年の3位から2位に上昇した。

他方、満足できなかった授業の数は、40 以上(4→7→4%)、30～40(4→7→0%)、20～30(15→21→16%)、10～20(30→17→27%)、10 以下(49→48→47%) であった。あまり顕著な傾向は見られないが、満足できる授業数が極端に少ない、あるいは満足できない授業が極端に多い学生は減少傾向にあり、わずかながら改善傾向にあるようにも見える。

【標準履修モデル】

授業科目については、授業内容や難易度において適切に「配置されていた」と「概ね配置されていた」は、基礎教育科目と専門コア科目（××学 C）で 89%、専門コア教育科目と専門専攻教育科目で 84%を占め、昨年同様の結果になっている。また、各教育コースの教育目標は標準履修モデルと「合致していた」または「概ね合致していた」が 80%であった。

【専門科目への要望】

「より高度な授業内容を実施してほしい」という要望に「全くそのとおり」または「概ねそのとおり」と回答した者は 65%（昨年度は 69%）であった。さらに「難しい授業が多すぎるので、もう少しレベルを下げてほしい」と回答した者は、全くその通り」と「おおむねその通り」をあわせて 26%（昨年度は 20%）と少なく、卒業後 3 年目の卒業生に、より高度な授業を望む声が多いのは変わらない。

【成績評価】

成績評価の方法については、86%（昨年度は 76%）が「成績評価は適切に行われた」または「概ね適切であった」と回答している。

【卒業研究】

卒業研究を全員必修にすべきであると答えた学生は 53%（昨年度は 72%）であった。個別記述には、「全員卒業研究を取り組んでから卒業する教育システムに戻してほしい」など、卒論必修の方向の意見が昨年同様あった。卒業生の声として、耳を傾けるべきであろう。

【授業改革】

理学部の各学科が開設している授業科目数と内容については、「適切である」または「概ね適切である」があわせて 80%（昨年度は 83%）であった。

【アドバイザー教員制度】

アドバイザー教員の指導・支援については 80%（昨年度は 83%）が「適切であった」または「概ね適切であった」と回答しており、おおむね学生の望む形の制度になっているようである。ただし、「アドバイザー制度は、名ばかりな部分が多い」との指摘もあり、改善が余地はあると思われる。

Ⅱ．集計結果

【所属】

1. あなたの所属していたコースを下記より選んでください。

- A. 数理科学コース B. 情報科学コース C. 物質基礎科学コース
D. 物質変換科学コース E. 生体機能物質工学コース F. 生物科学コース
G. 地球史環境科学コース H. 防災科学コース

	A	B	C	D	E	F	G	H	計
卒業者数	44	33	19	35	31	53	26	33	274

地球史環境科学コース	1	3	0	1	0	0	0
防災科学講座	0	0	0	0	2	0	0
計	14	7	3	2	11	5	1
回答者数に対する割合 (%)	31	16	7	4	24	11	2

4. 共通教育（一般教育）の授業は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた B. 満足できる授業が多かった
C. 満足できる授業が少なかった D. 満足できなかった

	A	B	C	D
数理科学コース	4	3	2	0
情報科学コース	0	2	1	0
物質基礎科学コース	0	3	0	0
物質変換科学コース	0	6	1	2
生体機能物質工学コース	2	6	0	0
生物科学コース	2	1	3	0
地球史環境科学コース	0	4	0	0
防災科学講座	1	2	0	0
計	9	27	7	2
回答者数に対する割合 (%)	20	60	16	4

数理科学コース

- ・ 共通教育が目指すものがハッキリとしていなかった。
- ・ 面白い授業もたくさんあった。

情報科学コース

- ・ 人気の授業を取ることができなかった。

物質基礎科学コース

- ・ 専門知識がなくても参加できるものが多く良かった。

物質変換科学コース

- ・ 担当教官の好みで、同じ名前の講義でも授業内容が全く異なっていた。
- ・ 表面的な授業が多かった。

生物科学コース

- ・ ただ、単位を取得するためだけに参加し、騒がしくしている学生が多かったと思う。

5. 教育研究施設（学習環境）は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた B. ほぼ満足できた
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

	A	B	C	D
--	---	---	---	---

数理科学コース	2	7	0	0
情報科学コース	1	1	1	0
物質基礎科学コース	0	3	0	0
物質変換科学コース	0	6	3	0
生体機能物質工学コース	4	3	1	0
生物科学コース	2	1	2	1
地球史環境科学コース	0	3	1	0
防災科学講座	1	2	0	0
計	10	26	8	1
回答者数に対する割合 (%)	22	58	18	2

数理科学コース

- ・ 全体的に暗い印象が強い。

情報科学コース

- ・ 狭い教室があった。

物質基礎科学コース

- ・ パソコンなど自由に使い、遅い時間まで使用でき、ありがたかった。

物質変換科学コース

- ・ 自主学習室の開館時間延長をして欲しかった、特に試験前。
- ・ メディアの森の開館時間が早い。

生物科学コース

- ・ 図書館の蔵書を増やして欲しかった。(専門分野)

地球史環境科学コース

- ・ 分析機器が他キャンパスにあり、移動に時間がかかり、効率が悪い。

6. 高知大学の就職支援活動は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた B. ほぼ満足できた
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

	A	B	C	D
数理科学コース	2	4	2	1
情報科学コース	0	1	1	1
物質基礎科学コース	1	0	1	1
物質変換科学コース	2	2	4	1
生体機能物質工学コース	2	3	3	0
生物科学コース	2	2	0	1
地球史環境科学コース	0	0	3	0
防災科学講座	2	1	0	0
計	11	13	14	5
回答者数に対する割合 (%)	24	29	31	11

数理科学コース

- ・ 自身の学力不足により、積極的にサービスを利用しなかったことが原因だが、もっとサービスの利用についてアピールして欲しかった。

情報科学コース

- ・ 活用していない。

物質基礎科学コース

- ・ 進学したので分からない。

生体機能物質工学コース

- ・ 親身だった。

生物科学コース

- ・ 利用していません。

地球史環境科学コース

- ・ 就職活動をしていないので、分からない。

7. 在学中に高知大学公認あるいは非公認のボランティア活動に参加したことがありますか。

A. ある B. ない

	A	B
数理科学コース	1	8
情報科学コース	0	3
物質基礎科学コース	1	2
物質変換科学コース	2	7
生体機能物質工学コース	1	7
生物科学コース	2	4
地球史環境科学コース	1	3
防災科学講座	1	2
計	9	36
回答者数に対する割合 (%)	20	80

8. 「ある」と答えた方に質問します。その活動は満足いくものでしたか。

A. 満足できた B. ほぼ満足できた
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

	A	B	C	D
数理科学コース	1	0	0	0
情報科学コース	0	0	0	0
物質基礎科学コース	1	0	0	0

物質変換科学コース	1	1	0	0
生体機能物質工学コース	0	1	0	0
生物科学コース	2	0	0	0
地球史環境科学コース	0	0	1	0
防災科学講座	0	1	0	0
計	5	3	1	0
回答者数に対する割合 (%)	11	7	2	0

続いて理学部に関する質問です。

【コース分属】

9. コース分属は希望どおりでしたか。

A. 第1希望コースに分属した B. 第2希望コースに分属した

	A	B
数理科学コース	9	0
情報科学コース	3	0
物質基礎科学コース	2	1
物質変換科学コース	9	0
生体機能物質工学コース	8	0
生物科学コース	6	0
地球史環境科学コース	4	0
防災科学講座	3	0
計	44	1
回答者数に対する割合 (%)	98	1

10. あなたは転学部・転学科・転コースの申請をしたことがありますか。

A. はい B. いいえ

	A	B
数理科学コース	0	9
情報科学コース	0	3
物質基礎科学コース	0	3
物質変換科学コース	0	9
生体機能物質工学コース	0	8
生物科学コース	0	6
地球史環境科学コース	0	4
防災科学講座	0	3
計	0	45
回答者数に対する割合 (%)	0	100

11. あると答えた方だけに質問します。申請は受け入れられましたか。

A. はい B. いいえ

	A	B
数理科学コース	-	-
情報科学コース	-	-
物質基礎科学コース	-	-
物質変換科学コース	-	-
生体機能物質工学コース	-	-
生物科学コース	-	-
地球史環境科学コース	-	-
防災科学講座	-	-
計	-	-
回答者数に対する割合 (%)	-	-

【シラバス】

12. 理学部の授業シラバスについてお聞きします。シラバスは授業選択に役立ちましたか。

- A. 役立った B. 役立つこともあった
C. あまり役立たなかった D. 役立たなかった

	A	B	C	D
数理科学コース	5	4	0	0
情報科学コース	1	2	0	0
物質基礎科学コース	3	0	0	0
物質変換科学コース	5	4	0	0
生体機能物質工学コース	2	5	1	0
生物科学コース	1	5	0	0
地球史環境科学コース	2	2	0	0
防災科学講座	2	1	0	0
計	21	23	1	0
回答者数に対する割合 (%)	47	51	2	0

13. 授業はシラバスの授業計画に沿って実施されていましたか。

- A. 実施されていた B. ほぼ実施されていた
C. 余り実施されていなかった D. 実施されていなかった

	A	B	C	D
数理科学コース	4	5	0	0
情報科学コース	1	2	0	0
物質基礎科学コース	2	1	0	0
物質変換科学コース	1	6	2	0
生体機能物質工学コース	2	6	0	0
生物科学コース	2	4	0	0

地球史環境科学コース	0	4	0	0
防災科学講座	0	3	0	0
計	12	31	2	0
回答者数に対する割合 (%)	27	69	4	0

【受講科目の感想】

14. あなたが在学期間中に受講した理学部開設授業（講義、実験、演習、セミナー）の印象をお聞きます。満足できた授業の数はおよそいくつでしたか。

A. 40 以上 B. 30－40 C. 20－30 D. 10－20 E. 10 以下

	A	B	C	D	E
数理科学コース	2	2	3	1	0
情報科学コース	0	1	2	0	0
物質基礎科学コース	3	0	0	0	0
物質変換科学コース	0	2	4	2	1
生体機能物質工学コース	3	2	1	1	1
生物科学コース	0	3	2	1	0
地球史環境科学コース	1	2	1	0	0
防災科学講座	0	0	3	0	0
計	9	12	16	5	2
回答者数に対する割合 (%)	20	27	36	11	4

15. 満足した理由を下記より選んでください。(複数回答可)

A. 専門分野の実力がついた B. 親切で丁寧な授業であった C. 教材を工夫していた
D. 教員の熱意が感じられた E. 授業が一方的でなかった F. 授業内容が斬新だった
G. その他（具体的に書いてください）

	A	B	C	D	E	F	G
数理科学コース	5	6	5	5	5	1	0
情報科学コース	2	1	0	0	0	1	0
物質基礎科学コース	3	1	0	1	0	0	0
物質変換科学コース	4	2	1	7	3	1	0
生体機能物質工学コース	5	4	3	5	1	2	0
生物科学コース	5	3	0	3	1	0	1
地球史環境科学コース	2	3	0	2	1	2	1
防災科学講座	1	2	0	2	0	1	0
計	27	22	9	25	11	8	2
回答者数に対する割合 (%)	60	49	20	56	24	18	4

生物科学コース

- ・ 内容が楽しかった。

地球史環境科学コース

- ・ 実力がついたかどうかを別にして、内容自体は悪くないと感じた。

16. 理学部開設授業（講義，実験，演習，セミナー）のうち，満足できなかった授業の数はおよそいくつでしたか。

A. 40 以上 B. 30－40 C. 20－30 D. 10－20 E. 10 以下

	A	B	C	D	E
数理科学コース	0	0	2	1	5
情報科学コース	0	0	0	1	2
物質基礎科学コース	0	0	0	0	3
物質変換科学コース	1	0	1	3	2
生体機能物質工学コース	1	0	1	2	4
生物科学コース	0	0	1	4	1
地球史環境科学コース	0	0	1	1	2
防災科学講座	0	0	1	0	2
計	2	0	7	12	21
回答者数に対する割合（％）	4	0	16	27	47

17. 満足しなかった理由を下記より選んでください。（複数回答可）

- A. 実力がつかなかった B. 不親切でわかり難い授業だった C. 教材の工夫が見られなかった D. 教員の熱意が感じられなかった E. 一方的な押し付け授業だった
F 内容が古すぎた G. 内容は新しいが断片的だった
H. その他（具体的に書いてください）

	A	B	C	D	E	F	G	H
数理科学コース	4	3	1	2	3	0	0	2
情報科学コース	0	2	0	1	2	0	1	0
物質基礎科学コース	2	0	1	0	2	0	0	0
物質変換科学コース	5	7	3	3	5	1	0	0
生体機能物質工学コース	1	6	4	3	2	0	1	0
生物科学コース	0	4	1	4	1	0	1	1
地球史環境科学コース	1	0	0	1	1	1	1	0
防災科学講座	1	0	1	0	1	0	0	0
計	14	22	11	14	17	2	4	3
回答者数に対する割合（％）	31	49	24	31	38	4	9	7

数理科学コース

- ・ 出席さえすれば単位がもらえるような授業や、出席などは全く取らない授業もあった気がします。出席を全く取らない授業で、自分としては頑張ったつもりでも良くないものがあり、納得できなかったように思います。でも、出席重視の授業では、授業中にボーッとしてしまうこともあり、テスト前に勉強するだけで単位が取れていました。今思うと、せっかく授業を受けたのに、力をつけることができなかったのもったいないと思いました。
- ・ 単位のみを目的とし、興味があまりない内容だったから。

生物科学コース

- ・ パソコン、使いづらかった。

【標準履修モデル】

18. 理学部は授業科目を基礎教育科目（現，基礎科目）、専門コア教育科目（現，専門科目のコア科目）、専門専攻教育科目（現，専門科目）に大別し、カリキュラムを段階的に学べるように工夫しました。基礎教育科目（〇〇学概論等）と専門コア科目（××学 C）は、授業内容や難易度において適切に配置されていたか。

- A. 配置されていた B. 概ね配置されていた
C. 余り配置されていなかった D. 配置されていなかった

	A	B	C	D
数理科学コース	5	3	0	0
情報科学コース	1	2	0	0
物質基礎科学コース	2	1	0	0
物質変換科学コース	0	6	2	0
生体機能物質工学コース	1	7	0	0
生物科学コース	2	4	0	0
地球史環境科学コース	2	1	1	0
防災科学講座	0	3	0	0
計	13	27	3	0
回答者数に対する割合（％）	29	60	7	0

19. 専門コア教育科目と専門専攻教育科目は、授業内容や難易度において適切に配置されていたか。

- A. 配置されていた B. 概ね配置されていた
C. 余り配置されていなかった D. 配置されていなかった

	A	B	C	D
数理科学コース	5	3	0	0
情報科学コース	1	2	0	0
物質基礎科学コース	2	1	0	0
物質変換科学コース	0	6	2	0

生体機能物質工学コース	2	5	1	0
生物科学コース	2	4	0	0
地球史環境科学コース	2	1	1	0
防災科学講座	0	2	1	0
計	14	24	5	0
回答者数に対する割合 (%)	31	53	11	0

20. 各教育コースは独自の教育目標を掲げています（理学部ホームページ等を参照してください）。この教育目標は標準履修モデルと合致していましたか。

- A. 合致していた B. 概ね合致していた
C. 余り合致していなかった D. 合致していなかった

	A	B	C	D
数理科学コース	3	4	0	0
情報科学コース	1	2	0	0
物質基礎科学コース	0	3	0	0
物質変換科学コース	1	3	3	1
生体機能物質工学コース	2	4	2	0
生物科学コース	0	6	0	0
地球史環境科学コース	0	4	0	0
防災科学講座	0	3	0	0
計	7	29	5	1
回答者数に対する割合 (%)	16	64	11	2

【専門科目への要望】

21. 「より高度な授業内容を実施してほしい」という要望に対するあなたの意見をお聞きます。

- A. 全くそのとおりである B. 概ねそのとおりである
C. 余りそう思わない D. 全く思わない

	A	B	C	D
数理科学コース	1	4	3	0
情報科学コース	1	2	0	0
物質基礎科学コース	0	1	2	0
物質変換科学コース	4	1	3	0
生体機能物質工学コース	2	4	2	0
生物科学コース	2	2	2	0
地球史環境科学コース	2	1	1	0
防災科学講座	0	2	1	0
計	12	17	14	0
回答者数に対する割合 (%)	27	38	31	0

22. 「難しい授業が多すぎるので、もう少しレベルを下げてほしい」という要望に対するあなたの意見をお聞きます。

- A. 全くそのとおりである B. 概ねそのとおりである
C. 余りそう思わない D. 全く思わない

	A	B	C	D
数理科学コース	0	3	4	1
情報科学コース	0	2	1	0
物質基礎科学コース	0	2	1	0
物質変換科学コース	1	0	4	3
生体機能物質工学コース	1	0	4	3
生物科学コース	0	3	2	1
地球史環境科学コース	0	1	0	3
防災科学講座	0	0	3	0
計	2	10	19	11
回答者数に対する割合 (%)	4	22	42	24

23. 「最前線の研究成果や手法を学ぶために、実験実習の時間を増やしてほしい」という要望に対するあなたの意見をお聞きます。

- A. 全くそのとおりである B. 概ねそのとおりである
C. 余りそう思わない D. 全く思わない

	A	B	C	D
数理科学コース	1	4	3	0
情報科学コース	3	0	0	0
物質基礎科学コース	1	1	1	0
物質変換科学コース	4	1	3	0
生体機能物質工学コース	5	2	1	0
生物科学コース	2	3	1	0
地球史環境科学コース	1	3	0	0
防災科学講座	1	1	1	0
計	18	15	10	0
回答者数に対する割合 (%)	40	33	22	0

24. 「サークル活動やアルバイトとぶつかるので、実験実習等の授業時間を軽減してほしい」という要望に対するあなたの意見をお聞きます。

- A. 全くそのとおりである B. 概ねそのとおりである
C. 余りそう思わない D. 全く思わない

	A	B	C	D
数理科学コース	0	0	4	3
情報科学コース	0	0	1	2
物質基礎科学コース	0	0	0	3
物質変換科学コース	1	0	2	5
生体機能物質工学コース	1	0	4	3
生物科学コース	0	0	2	4
地球史環境科学コース	0	0	3	1
防災科学講座	0	0	2	1
計	2	0	18	22
回答者数に対する割合 (%)	4	0	40	49

25. 「社会に出て役立つことを授業に盛り込んでほしい」という要望に対するあなたの意見をお聞きます。

- A. 全くそのとおりである B. 概ねそのとおりである
C. 余りそう思わない D. 全く思わない

	A	B	C	D
数理科学コース	5	2	0	1
情報科学コース	2	0	1	0
物質基礎科学コース	0	2	1	0
物質変換科学コース	3	1	4	0
生体機能物質工学コース	4	4	0	0
生物科学コース	3	0	3	0
地球史環境科学コース	2	2	0	0
防災科学講座	1	2	0	0
計	20	13	9	1
回答者数に対する割合 (%)	44	29	20	2

【成績評価】

26. これまで受講した授業について、成績評価の方法は適切であったと思いますか。

- A. 適切であった B. 概ね適切であった
B. 適切でない授業もあった D. 適切でない授業がたくさんあった

	A	B	C	D
数理科学コース	3	4	1	0
情報科学コース	2	1	0	0
物質基礎科学コース	2	1	0	0
物質変換科学コース	2	4	2	0
生体機能物質工学コース	3	5	0	0
生物科学コース	2	4	0	0

地球史環境科学コース	1	2	1	0
防災科学講座	0	3	0	0
計	15	24	4	0
回答者数に対する割合 (%)	33	53	9	0

数理科学コース

- ・ 教員によるバラツキが多すぎる。

27. 成績評点は自分の予想と合っていましたか (成績評価が適切に行われたと思いますか)。

- A. 適切であった B. 概ね適切であった
C. 適切でない授業もあった D. 適切でない授業がたくさんあった

	A	B	C	D
数理科学コース	3	4	1	0
情報科学コース	1	2	0	0
物質基礎科学コース	3	0	0	0
物質変換科学コース	2	5	1	0
生体機能物質工学コース	4	4	0	0
生物科学コース	3	2	1	0
地球史環境科学コース	1	3	0	0
防災科学講座	0	3	0	0
計	17	23	3	0
回答者数に対する割合 (%)	38	51	7	0

【卒業研究】

28. 現在、理学部所属の学生は主専攻・副専攻を自由に選ぶことができ、副専攻で主専攻と異なる分野を選択した学生に対して、卒業研究を選択科目、あるいは選択不可としているコースがあります。これについてあなたの意見をお聞きます。

- A. すべての学生に対し必修がよい B. すべての学生に対し選択がよい
C. 学生の進路に合わせ必修と選択の両方を設けるのがよい

	A	B	C
数理科学コース	3	0	5
情報科学コース	2	0	1
物質基礎科学コース	1	1	1
物質変換科学コース	6	0	2
生体機能物質工学コース	4	2	2
生物科学コース	4	0	2
地球史環境科学コース	2	0	2
防災科学講座	2	0	1

計	24	3	16
回答者数に対する割合 (%)	53	7	36

【授業改革】

29. 理学部の各学科が開設している授業科目数と内容は適切だと思いますか。

- A. 適切である B. 概ね適切である
C. 足りない D. 多すぎる

	A	B	C	D
数理科学コース	3	4	1	0
情報科学コース	1	2	0	0
物質基礎科学コース	1	2	0	0
物質変換科学コース	1	4	3	0
生体機能物質工学コース	2	5	1	0
生物科学コース	1	5	0	0
地球史環境科学コース	2	1	1	0
防災科学講座	2	0	1	0
計	13	23	7	0
回答者数に対する割合 (%)	29	51	16	0

30. C あるいは D を選択した人にお聞きします。どんな授業を増やせば（減らせば）よいと思いますか。具体的に書いてください。

数理科学コース

- ・ 現在、大学で学ぶ為の知識を持って入学する学生は非常に少ないと思います（自分も含め）。その中で、大学の授業は学生のレベルと必ずしも一致しているとは言えないと思いますので、自分で考える力を身につける為の能力を伸ばす内容の授業をもっと増やしていただきたい。

物質変換科学コース

- ・ 高分子に関する内容。
- ・ 有機金属に関する内容。
- ・ 実験数の増加。他学科の授業も受講できるようにする。
- ・ 専門科目の増加。
- ・ 有機化学に偏っていると思う。

生体機能物質工学コース

- ・ 生化学や分子生物学などの専門コアの授業を増やせばいいと思います。1 年～1 年半くらいかけて専門コアの内容をしっかりと学んで、その後、ポイントを絞って、さらに深く掘り下げていく方が、実験や卒研で使える知識として専門の内容を習得しやすい気がします。

地球史環境科学コース

- ・ 実験に必要な分析機器を使用する機会。

- ・ 実験データの処理に必要な計算(ノルム計算)を演習する授業をもっと増やすべき。

防災科学コース

- ・ 必須単位を取得するのに選択肢が少ない。

【アドバイザー教員制度】

31. アドバイザー教員の指導・支援は適切でしたか。

- A. 適切であった B. 概ね適切であった
C. 余り適切でなかった D. 適切でなかった

	A	B	C	D
数理科学コース	4	4	0	0
情報科学コース	1	1	0	1
物質基礎科学コース	0	1	2	0
物質変換科学コース	3	4	2	0
生体機能物質工学コース	4	2	1	1
生物科学コース	4	1	1	0
地球史環境科学コース	1	3	0	0
防災科学講座	0	3	0	0
計	17	19	6	2
回答者数に対する割合 (%)	38	42	13	4

32. 理学部の教育や高知大学の教育全般について、意見があれば書いてください。

数理科学コース

- ・ 高知大学の教育全般としては、とても良いと感じています。授業に関しては、もっと学生に考えさせるような授業があれば良いと思います。また、代理出席などを行っている生徒がたまに居たので、ルールの徹底はしっかりすべきだと思います。就職活動支援は大変満足しています。職員の方が大変親切で助かりました。課外活動では、インターンシップ等の情報を一回生ぐらいから知っておけたらなあと思っていました。自分が見逃していただけかもしれませんが、全体的に行っても社会に出た際に役立つような授業や活動が少なかったような気がします。アルバイトで単位が出ないかあなんて思ったりしていました、以上。
- ・ 高校までの教育とのギャップに驚きました。難しいことなのかもしれませんが、高校までの授業に近い形を取り入れてほしいと思いました。また、教員を目指す人が多かったように思うので(数理科学コース)、そのような勉強も、もっと授業の中でできたら良かったです。
- ・ 理学部(数理科学コース)について
私が在学していた時は、グループを作ったの討論や知識の共有をする機会がほぼありませんでした。その為、親しい友達とのみの情報交換のみで、知識の幅があまり広がらなかった。多くの人と討論し、知識の有を図っていけば、その分野に対する興味も自ずと出てくるものだと思います。さらには自身のコミュニティーも広がり一挙両得なのではないかと思っています。

高知大学の教育について

学生の自主性を尊重することは大切だが、学生にとってもある一定度の拘束を持った態度が必要なのではないか？特に卒業の進路について出来るだけ早い段階での指導が求められるはずだ。その指導を強く反映させる為には、上記のとおり、一定度の拘束(縛り)として少数のグループでの行動を多くし、アドバイザー教員に高校の担任のような役割を担ってもらい、学生に大学への帰属意志を高めることで、より強く指導の効果が表れるのではないかと思います。以上。

情報科学コース

- ・ ギャップをなくしてほしい。
- ・ 自分で考えて、意見を発言する力をつけれる授業があればと思う。

物質変換科学コース

- ・ 簡単な実験実習時においても、担当教官が TA に任せたまま、1h 以上戻ってこないというのは無責任であると思われる(当時の分析化学の教授)。教職講義の中で理学部の先生方担当の講義があったが、教育学部の先生方と異なり全くやる気が感じられず、不愉快であった。これならば、全ての講義を教育学部の先生方に行ってもらいたかった。
- ・ 夏休みや春休みにある集中講義の量を増やしてほしい。この講義ではたいてい外部の先生の講演を聞く形式で、他大の研究内容を知れる素晴らしい機会だと感じていた。
- ・ 3 年前のことなので、記憶があいまいな為、回答できないことが多い。
- ・ 現在、私は化学系の仕事に就いているわけではないが、4 年間を通して高知大学で学んだこと、考えたことは、今の私を支えてくれているように感じる。サークルやアルバイトなどよりも、まず、自分自身の学部の勉学に励むことを大切にしたいと思う。いい大学生活でした。研究面白かったです。ありがとうございました！！

生体機能物質工学コース

- ・ 主専攻と副専攻を分けて、幅広く、いろいろなことを学ぶ機会があるのは、とてもよいと思います。しかし、その結果、卒研を行うことができないというのは、学生にとっても、教官にとっても、すごくもったいないと思います。
- ・ 特にないです。
- ・ アドバイザー制度は、名ばかりな部分が多いように思う。教員によりけりであるが、頼りになる教員と、そうでない教員の差が大きいと感じていた。
- ・ 大学に来て、しかも、理系に進学したにも関わらず、卒論を選択せずに(履修せずに)卒業するのはどうかと思う。社会に出て、大学で学んだこと、研究したことが役立つとは限らないが、卒論で苦労したことや、成し遂げる経験が必要だと思った。その経験が、社会に出て大いに役立つと私は感じている。(実際に社会人になってみて、そう感じました。)

生物科学コース

- ・ 大学入学から研究室分属までの 2 年半の間、理論などを授業で学んだが、実際に卒業研究に取り組むことで、より深く、専門分野を理解することができたように思います。また、就職に直接関係しない研究テーマであっても、研究の過程、結果のまとめ、発表等のプレゼン能力は、どんな仕事にもつながるものであるし、就職試験の面接でも結果をまとめる力と、説明する力が注目されていたように思います。だから、卒業研究を省略して就職活動に専念するということは、学生や学生の就職に有利なのか少々疑問です。私自身、研究者に憧れて理学部に入ったので、自分で研究をせずに卒業するのは、理学部の学生の特権を使っていないようで、も

ったいない気がします。なので、理学部に入った学生さんには、全員卒業研究を取り組んでから卒業する教育システムに戻してほしいです。

地球史環境科学コース

- ・ 学部生時代の4年間の成績は出席単位がギリギリ3分の2のものは良で、それより出席率の悪くないものは優で、テストがどれほど重要なものなのかイマイチ分からなかった。他大学の大学院に進学したところ、同じような学科であるに関わらず、自分の知識では全く研究の役に立たず、進学先の大学の4年生と同じ勉強をした。普通に勉強したのにもかかわらず、他大では卒論を始めていない4年生と同レベルではどうかと思うが、そのようなレベルのものに優を与えるのも、もっとおかしいことだと感じた。授業のレベルが違うのか、大学の評価基準が違うのか、そもそも学生の質が違うのかは分からないが、高知大学から旧帝大クラスの大学院に進学すると苦労すると思います。
- ・ 楽しく充実した大学生活でした。他大学と比べ、人とのつながりが深いと感じています。これからも、その高知大学の良さを大切にしてほしいと思っています。

修了生アンケートのデータ (平成21年度修了生；平成24 年度末に実施)

今回、アンケート対象となったのは平成21年度理学専攻修了生で、その多くは平成19年度入学であり、大学院改組（平成19 年度）後の最初の学年にあたる。アンケートは、平成23 年12 月20 日に郵送し、1 月末締め切りで返信を依頼した。平成21 年度の修了生は64名であり、そのうち8名から回収された。回収率は12.5%と回収数が少ないため、データのみを示す。

理学部大学点検評価委員会

集計結果

アンケートを旧講座名で実施してしまったため、対応する新分野を括弧内に示した。

1. あなたの所属していた講座を下記より選んでください。

- A. 数理科学講座（数学分野） B. 情報科学講座（情報科学分野）
C. 物質基礎科学講座（物理科学分野） D. 物質変換科学講座（応用化学分野）
E. 生体機能物質工学講座（海洋生命・分子工学分野）
F. 生物科学講座（生物科学分野） G. 地球史環境科学講座（地球科学分野）
H. 防災科学講座（災害科学分野）
I. 植物分類・地理学講座（連携分野：植物分類・地理学分野）
J. 海底資源科学講座（連携分野：海底資源科学分野）

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	計
修了者数	7	8	6	7	10	12	7	6	1	0	64
回収件数	0	2	1	1	1	0	0	2	1	0	8

回収率(%)	0	25	17	14	10	0	0	33	100	-	12.5
--------	---	----	----	----	----	---	---	----	-----	---	------

【全般的な質問】

2. 高知大学での勉学や生活で満足できたものを下記より選んでください。(複数回答可)

- A. 授業 B. 研究室での研究やゼミ C. 先生との出会い D. 友人との出会い
E. 課外活動 F. 親からの自立 G. その他

	A	B	C	D	E	F	G
数理科学講座(数学分野)	-	-	-	-	-	-	-
情報科学講座(情報科学分野)	0	2	2	2	1	1	0
物質基礎科学講座(物理科学分野)	0	1	1	1	0	0	0
物質変換科学講座(応用化学分野)	0	1	1	0	0	0	0
生体機能物質工学講座(海洋生命・分子工学分野)	0	1	1	0	0	0	0
生物科学講座(生物科学分野)	-	-	-	-	-	-	-
地球史環境科学講座(地球科学分野)	-	-	-	-	-	-	-
防災科学講座(災害科学分野)	1	2	2	2	1	1	0
植物分類・地理学講座(植物分類・地理学分野)	0	1	1	1	0	1	0
海底資源科学講座(海底資源科学分野)	-	-	-	-	-	-	-
計	1	8	8	6	2	3	0

3. 高知大学での勉学や生活で満足できなかったものを下記より選んでください。(複数回答可)

- A. 授業 B. 研究室での研究やゼミ C. 先生とのトラブル
D. 友人とのトラブル E. 課外活動 F. 親からの自立
G. その他

	A	B	C	D	E	F	G
数理科学講座(数学分野)	-	-	-	-	-	-	-
情報科学講座(情報科学分野)	1	0	0	0	0	0	0
物質基礎科学講座(物理科学分野)	1	0	0	0	0	0	0
物質変換科学講座(応用化学分野)	1	0	0	0	0	0	0
生体機能物質工学講座(海洋生命・分子工学分野)	0	0	0	0	0	0	0
生物科学講座(生物科学分野)	-	-	-	-	-	-	-
地球史環境科学講座(地球科学分野)	-	-	-	-	-	-	-
防災科学講座(災害科学分野)	0	0	0	0	1	0	0
植物分類・地理学講座(植物分類・地理学分野)	0	0	0	0	0	0	1
海底資源科学講座(海底資源科学分野)	-	-	-	-	-	-	-
計	3	0	0	0	1	0	1

防災科学講座(災害科学分野)

・なし

植物分類・地理学講座(植物分類・地理学分野)

・就職活動で結果が出せなかった。

4. 教育研究施設（学習環境）は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた B. ほぼ満足できた
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

	A	B	C	D
数理科学講座(数学分野)	-	-	-	-
情報科学講座(情報科学分野)	1	1	0	0
物質基礎科学講座(物理科学分野)	0	0	1	0
物質変換科学講座(応用化学分野)	0	1	0	0
生体機能物質工学講座(海洋生命・分子工学分野)	0	1	0	0
生物科学講座(生物科学分野)	-	-	-	-
地球史環境科学講座（地球科学分野）	-	-	-	-
防災科学講座（災害科学分野）	0	2	0	0
植物分類・地理学講座（植物分類・地理学分野）	0	1	0	0
海底資源科学講座（海底資源科学分野）	-	-	-	-
計	1	6	1	0

情報科学講座(情報科学分野)

・ 特にないです。

植物分類・地理学講座(植物分類・地理学分野)

・ 自習室が欲しかった。

5. 高知大学の就職支援活動は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた B. ほぼ満足できた
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

	A	B	C	D
数理科学講座(数学分野)	-	-	-	-
情報科学講座(情報科学分野)	0	0	1	1
物質基礎科学講座(物理科学分野)	0	1	0	0
物質変換科学講座(応用化学分野)	1	0	0	0
生体機能物質工学講座(海洋生命・分子工学分野)	0	1	0	0
生物科学講座(生物科学分野)	-	-	-	-
地球史環境科学講座（地球科学分野）	-	-	-	-
防災科学講座（災害科学分野）	1	1	0	0
植物分類・地理学講座（植物分類・地理学分野）	0	0	1	0
海底資源科学講座（海底資源科学分野）	-	-	-	-
計	2	3	2	1

情報科学講座

・ 大学の就職支援活動は利用しなかった為。

植物分類・地理学講座(植物分類・地理学分野)

- ・ 早めに(1 回生、2 回生)就職を高めるイベントがあればよかった。

6. 在学中に高知大学公認あるいは非公認のボランティア活動に参加したことがありますか。

A. ある B. ない

	A	B
数理科学講座(数学分野)	-	-
情報科学講座(情報科学分野)	0	0
物質基礎科学講座(物理科学分野)	0	1
物質変換科学講座(応用化学分野)	0	1
生体機能物質工学講座(海洋生命・分子工学分野)	0	1
生物科学講座(生物科学分野)	-	-
地球史環境科学講座 (地球科学分野)	-	-
防災科学講座 (災害科学分野)	0	2
植物分類・地理学講座 (植物分類・地理学分野)	1	0
海底資源科学講座 (海底資源科学分野)	-	-
計	1	5

7. 「ある」と答えた方に質問します。その活動は満足いくものでしたか。

A. 満足できた B. ほぼ満足できた
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

	A	B	C	D
数理科学講座(数学分野)	-	-	-	-
情報科学講座(情報科学分野)	0	0	0	0
物質基礎科学講座(物理科学分野)	0	0	0	0
物質変換科学講座(応用化学分野)	0	0	0	0
生体機能物質工学講座(海洋生命・分子工学分野)	0	0	0	0
生物科学講座(生物科学分野)	-	-	-	-
地球史環境科学講座 (地球科学分野)	-	-	-	-
防災科学講座 (災害科学分野)	0	0	0	0
植物分類・地理学講座 (植物分類・地理学分野)	1	0	0	0
海底資源科学講座 (海底資源科学分野)	-	-	-	-
計	1	0	0	0

植物分類・地理学講座(植物分類・地理学分野)

- ・ 学校がアナウンスを頻発すればいいのではと思う。

続いて理学専攻に関する質問です。

8. あなたが在学期間中に受講した理学研究開設授業（講義，実験，演習，セミナー）の印象をお聞きます。全体として授業は満足できるものでしたか。

- A. 満足できた B. ほぼ満足できた
C. あまり満足できなかった D. 満足できなかった

	A	B	C	D
数理科学講座(数学分野)	-	-	-	-
情報科学講座(情報科学分野)	0	1	1	0
物質基礎科学講座(物理科学分野)	0	0	1	0
物質変換科学講座(応用化学分野)	0	1	0	0
生体機能物質工学講座(海洋生命・分子工学分野)	0	1	0	0
生物科学講座(生物科学分野)	-	-	-	-
地球史環境科学講座 (地球科学分野)	-	-	-	-
防災科学講座 (災害科学分野)	0	2	0	0
植物分類・地理学講座 (植物分類・地理学分野)	1	0	0	0
海底資源科学講座 (海底資源科学分野)	-	-	-	-
計	1	5	2	0

9. 満足できた理由を下記より選んでください。(複数回答可)

- A. 専門分野の実力がついた B. 親切で丁寧な授業であった C. 教材を工夫していた
D. 教員の熱意が感じられた E. 授業が一方的でなかった F. 授業内容が斬新だった
G. その他 (具体的に書いてください)

	A	B	C	D	E	F	G
数理科学講座(数学分野)	-	-	-	-	-	-	-
情報科学講座(情報科学分野)	0	0	0	0	0	0	0
物質基礎科学講座(物理科学分野)	0	0	0	0	0	0	0
物質変換科学講座(応用化学分野)	1	0	0	0	0	0	0
生体機能物質工学講座(海洋生命・分子工学分野)	1	0	0	1	0	0	0
生物科学講座(生物科学分野)	-	-	-	-	-	-	-
地球史環境科学講座 (地球科学分野)	-	-	-	-	-	-	-
防災科学講座 (災害科学分野)	1	1	1	2	1	2	0
植物分類・地理学講座 (植物分類・地理学分野)	0	1	0	1	0	0	0
海底資源科学講座 (海底資源科学分野)	-	-	-	-	-	-	-
計	3	2	1	4	1	2	0

10. 満足できなかった理由を下記より選んでください。(複数回答可)

- A. 実力がつかなかった B. 不親切でわかり難い授業だった C. 教材の工夫が見られなかった
D. 教員の熱意が感じられなかった E. 一方的な押し付け授業だった
F. 内容が古すぎた G. 内容は新しいが断片的だった H. その他 (具体的に書いてください)

	A	B	C	D	E	F	G	H
数理科学講座(数学分野)	-	-	-	-	-	-	-	-

情報科学講座(情報科学分野)	0	1	0	1	0	0	0	0
物質基礎科学講座(物理科学分野)	0	1	0	1	0	0	0	0
物質変換科学講座(応用化学分野)	0	0	0	0	0	0	0	0
生体機能物質工学講座(海洋生命・分子工学分野)	0	0	0	0	0	0	0	0
生物科学講座(生物科学分野)	-	-	-	-	-	-	-	-
地球史環境科学講座 (地球科学分野)	-	-	-	-	-	-	-	-
防災科学講座 (災害科学分野)	0	0	0	0	0	0	0	0
植物分類・地理学講座 (植物分類・地理学分野)	0	0	0	0	0	0	0	0
海底資源科学講座 (海底資源科学分野)	-	-	-	-	-	-	-	-
計	0	2	0	2	0	0	0	0

防災科学講座(災害科学分野)

・なし

植物分類・地理学講座(植物分類・地理学分野)

・授業で特講がもっとあればよかった。

11. 理学部の教育や高知大学の教育全般について、意見があれば書いてください。

情報科学講座(情報科学分野)

・特になし。

・とても素晴らしい先生に出会えて充実した研究生生活を送らせていただきました。

物質変換科学講座(応用化学分野)

・教室、講座を問わず、共同研究をして、高知大学らしい研究成果を世界発信してください。期待しています。

生体機能物質工学講座(海洋生命・分子工学分野)

・パソコン、プレゼン、英語を重点に教えることは、会社の実態と一致しています。これからも、さらに充実していきますように。

・家族の者のオープンキャンパスに今夏ついていきました。四国内の公立大学では、高知大学がおおらかで、のびのびしていると感じました。これからも、高知大学について、PR活動を微力ながら努めていきたいと思ひます。

植物分類・地理学講座(植物分類・地理学分野)

・卒業してあらためていい学生生活を過ごせたと思います。教職員の皆様、学寮関係者に感謝するとともに、貴大学をもっとよく言ってくれたら嬉しく思います。